

不安を抱える女性への寄り添い相談支援事業【群馬県】

地域の実情と課題

現状

・群馬県では非正規で働く女性が多い。

・長引くコロナ禍で、女性の雇用不安、心身の不調、DVの増加が顕著

課題

・コロナ禍における女性の不安や困難の解消のための支援が必要、

・根強く残るジェンダーバイアスの解消の取組

目的・目標

現状

・コロナ禍のなかで、困難を抱える女性の心身のケアや、経済的不安を解消するとともに、相談をきっかけに、困難を抱える女性を最適な支援機関につなぐことで、根本的な解決に導くことを目的とする。

目標

・本事業で対応した相談者数(アウトプット)840人

・連携体制の構成員数(アウトプット)7団体以上

事業の特徴

・事業実施期間 令和3年9月～令和4年3月

・県内を4地域(中毛・北毛・西毛・東毛)に分けて、NPO法人等に委託し実施。

・電話相談に加えて、アウトリーチによる相談対応

・弁護士や、市役所等必要な手続きなどへ同行支援

・4つのNPO法人とも、電話相談に加え、SNSやメール相談を実施

連携団体

社会福祉協議会、民生児童委員協議会、子ども食堂ネットワークぐんま、市町村、県教育委員会、私立学校協会、県女性相談センター、民間DVシェルター、県男女共同参画センター、県こころの健康センター、国労働局職業安定課、フードバンク、委託先NPO法人

事業の効果

・本事業で対応した相談件数 799件

・連携体制の構成員数 14団体

事業の効果

受託NPO法人4団体とも法人の持つ知見を活かした行政では手が届きにくい支援を実施することができた。

アウトリーチ支援、同行支援としてアパート探しや法律相談への同行などを行った。

今後の課題

・相談の先に、安心できる居場所や仲間づくりなどを求めている女性が多い。

・女性の悩みは、各分野に重層的に複雑に絡まっている場合が多く、着実に解決するためにネットワーク強化が必要。

・各NPO法人では、相談対応やスキルアップ、人材育成に悩みを持っている。

→今後は、女性のための居場所や仲間づくり、連携体制の強化、相談員のための人材育成研修を実施する。

事業の概要

不安を抱える女性への寄り添い相談支援「ぐんま・ほほえみネット」

女性に寄り添った相談

○NPO法人等へ委託

- ・電話やSNSによる相談、アウトリーチ、同行支援
- ・ちらしやカードによる相談支援の周知広報
(市町村、公民館、学校、保育園、病院、ハローワーク、銀行等)
- ・NPO法人等が女性用品を備蓄し、相談者に無償配布
⇒女性用品等の配布をきっかけにして支援につなげる。

○委託期間

令和3年9月～令和4年3月



周知カード・ちらし

ぐんま・ほほえみネットワーク会議

○会議内容

委託先NPO法人の活動状況報告、関係機関からの情報提供
事例紹介、課題解決へ向けた意見交換等情報共有



オンライン会議

活動状況報告



関係機関情報提供



全県配布ちらし（県作成）